

SHINE'S

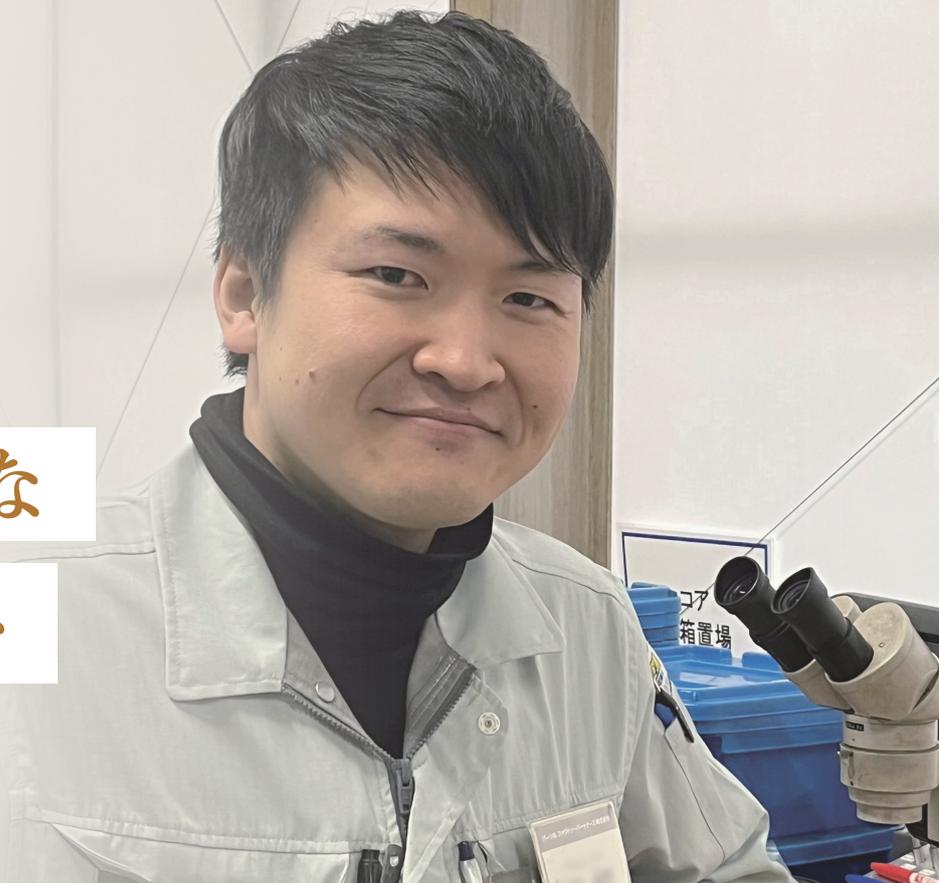
for Recruit

Vol. 1

2025年8月発行

マルチタスクな スペシャリスト

モノづくり本部 米子ファクトリーセンター
シフトリーダー



2011年に新卒で入社以来、一貫してプレス工程(*1)を担当。
多くの資格を取得し、活躍し続けている若きシフトリーダーに、
苦勞の乗り越え方や大切にしている信念などについて、話を伺いました。

用語解説(*1)
プレス工程…金属などの素材
圧力を加えて、目的の形状に成
形する作業工程

01 入社から現在までの経緯を教えてください。

私は、プレス工程に配属されてから、現在にいたるまで部署を異動せずに、ずっと生產業務に従事しています。また、プレス金型のメンテナンスや、工作機械を使用した各種治具製作にも携わってきました。

入社から5年の間に、技術の習得を目指して5つの資格を取得しました。2023年には、米子ファクトリーセンター内では唯一となる、騒音・振動関係公害防止管理者の資格に合格。現在は、機械保全技能検定2級をはじめ、合計10個の資格を所持しています。

02 様々な経験の過程で、印象に残っている逆境はどのようなことがありますか？

金属加工の調整業務は、とても苦勞しました。マイクロ単位で調整が必要なども繊細な作業で、ある程度は感覚で調整しなければなりません。経験が足りなかった入社当初は、うまくいかずに失敗も経験しました。

乗り越える方法は、とにかく数を重ねること。そこで、先輩社員の技術を見習いながら何度も繰り返し取り組み、技術を習得。私はもともと、新しいことに挑戦するのが好きのため、資格を取得したり、さまざまな加工にチャレンジしたりして、スキルアップを重ねてきました。取り組み続けた結果、コツをつかめたのは、入社して3年目くらい。現在でもまだ難しいと感じる部分もありますが、独り立ちをしてからは、メンテナンス業務も担っています。

03 仕事のやりがいは、どのようなときに感じますか。

加工案件を任せてもらい、図面通りに仕上げたときにやりがいを感じますね。難易度が高いほど、達成感が得られます。

最近最もやりがいを感じたのは、通常業務のほかに携わっている改善活動での出来事です。生産中に、部品がベルトコンベアの上で詰まることが以前から課題として挙がっていました。そこで、詰まったらすぐにわかるように、「センサーを取りつけたらどうか」と考え、自ら改善実行しました。すると、詰まり発生をセンサーが検知し、自動でベルトコンベアが止まるようになったのです。その結果、詰まりを解消する時間が削減され、生産性がアップ。自分の提案が業務の改善につながり、とてもうれしく感じました。

用語解説 (*2)

中央値…データを小さい順に並べたときに真ん中にくる値のこと (≠平均値)

04 働く上で大切にしていることや信念はありますか。

一番大切にしているのは、図面の寸法通りに生産することです。実は、図面に記載された寸法には一定の幅があります。基本的には規定値内であれば問題ありませんが、私の場合はできる限り中央値 (*2) に近づけて生産するのが、入社時からのこだわり。お客様によりよい製品をお届けしたいという思いがあるため、中央値を目指ようになりました。

また、規定値内であってもぎりぎりの数値だと、不良品につながる可能性もある。だからこそ、不良品を発生するリスクを最小限に抑え、余計な時間や費用などをかけないように、常に心がけています。

05 最後に、今後の目標をお聞かせください。

これからも、さまざまな加工にチャレンジをして技術を向上させるのが、私の目標です。資格についても必要性を感じたり、会社から推奨されたりした場合には、積極的に取得したいと考えています。最終的には、加工のスペシャリストになるのが私の夢です。

現状に満足せず、常に新しいことに挑戦し続けているスペシャリスト。
これからも飽くなき向上心を胸に、成長を続け、
夢を実現する日もそう遠くはないでしょう。



上司からの メッセージ

モノづくり本部
米子ファクトリーセンター
課長

ここがすごい!

仕事のセンスは一際光るものがあります。口数は決して多くなく、若くして、すでに職人オーラを放っています。私も一目置く存在です。

メッセージ

多岐にわたり、ベテランの技能・技術を吸収してくれています。「若いからまだまだ!」という言葉は当てはまらず、良い後継者に恵まれたと感じています。後輩からも慕われています。時には後ろを振り返りながら、自己研鑽をお願いします。

JOB STORY

様々なキャリアを歩むメンバーが当社には所属しています。そんな皆さんの「ジョブストーリー」に少しお邪魔をし、ご紹介します。今回は、チームで新たな取り組みを行っているMさんに話を伺いました。派遣先企業様にて積極的に業務改善に取り組み、高い評価を得ているMさん。具体的な取り組みや、工夫しているポイントについて教えていただきました。

西日本事業本部 第三統括部 滋賀支社 滋賀営業所
統括リーダー

滋賀県草津市から、同じ滋賀県(彦根市)の派遣工程へ異動。
当社社員を中心とした能動的な活動が評価され、
派遣先からの信頼・満足度も高い。

Case 1

業務改善への道

チームの取り組み内容

実際に肌で感じた改善案を クライアントに提出

当社社員中心のチームで改善活動を行っています。実際に作業を行う傍ら、工程の課題となるボトルネックを洗い出し、改善提案を資料にまとめて派遣先様へ提出します。受け身にならず、能動的に提案することで、派遣先様も改善に協力的で、良好な関係を築けていると感じています。当初は私を含む5名のチームでスタートしましたが、現在は人数が増えたため、様々な工程にメンバーを配置し、幅広い情報収集が行えるようになりました。その情報をもとに改善の優先順位を決めて、活動を進めていくのが私たちの役割です。

活動を始めたきっかけ

作業ミスを減らすための 徹底した安全管理

2年ほど前に、当時私が管理していた工程で作業ミスが続けて発生してしまいました。そこで「与えられた環境で普通に作業するだけでは、不安全な行動・場所に気づかないのでは」と思い、作業者の安全性を向上するための取り組みを始めることに。そのため、現在様々な業務改善を提案する中でも、特に安全管理における改善を重点的に実行することで、作業ミス撲滅を目標に活動しています。また、こうした安全重視の取り組みを進めてきたことにより、派遣先様から高い評価を得ることに繋がりました。

苦労したエピソード

アイデアを駆使して 予算内で改善策を実現

派遣先様の予算の関係で実現が難しい改善案などもありました。そこで、現場の意見とすり合わせながら、少しでも予算を抑えた改善案を提出するよう心がけています。例えば、作業者の負担を減らすため、電動リフターの導入を提案しましたが、予算の都合で実現できませんでした。しかし、代わりに電動より安価な足踏み式リフターを提案し、設置いただけることになりました。派遣先様のコスト負担を考慮しながら、いかに目指す効果を実現できるか、常に考えて提案を行っています。

取り組みによる良い効果

現場の改善に対する 姿勢が変わるきっかけに

部品を持ち上げる工程で、手回し式のリフターを導入した際、女性の従業員から「作業が楽になりました」という声をいただきました。また、改善活動を始める前と比べて、従業員からより活発に意見を出してもらえるようになったという嬉しい変化も。現在は「こうした点を改善してほしい」と積極的に改善案を出してくれる従業員も増えてきました。改善活動の推進が一体感を作り出し、現場に活気が生まれてきていると感じます。

今後新たに挑戦したいこと

安全性に加え 業務の効率化の改善へ

現在は、主に安全面に関する改善活動が中心ですが、今後は業務の効率化などにも取り組んでいきたいと思っています。また、今は私がチームを統括し率いていますが、今後は後輩の皆さんが中心となって活動するチームを作り上げ、後輩社員のステップアップに繋げていきたいと考えています。

皆さんは日ごろから「ありがとう」を伝えられていますか？支えてくれた先輩、場を盛り上げてくれた後輩……ぜひこの機会に周囲を見渡し、仲間に感謝の気持ちを伝えてみましょう！

いつも頑張ってくれてありがとう。

率先して物事に取り組んでくれるところや、急なお願いごとも嫌な顔をせずに引き受けてくれる姿勢が素晴らしいと思います。少人数とはいえ、リーダーとしても工程メンバーをうまくまとめてくれています。人によって態度を変えたりせず、礼儀正しいですし、説明も丁寧でわかりやすい。その誠実さが彼のリーダーシップにおける強みだと感じています。物事への取り組みが早く、誰よりも先に課題などを提出するスピード感も素晴らしい点です。自分から進んでいるいろいろなことに挑戦しようとする前向きな姿勢は、見習いたいと思っています。

早い段階で現場リーダーを任されて大変だと思いますが、彼の誠実さと行動力があれば、問題なくやり通せると思いますので、これからもよろしくお願いします。

直属の上司

**ありがとうございます
伝える相手**

東日本事業本部 第一統括部
関東・甲信遠支社 甲府事業所

2023年4月1日に新卒で入社し、甲府事業所に着任。
前向きで誠実な人柄が高評価。
多能工にも挑戦し、実装機の本体組立のほか、ユニット工程での作業も習得。

東日本事業本部
第一統括部
関東・甲信遠支社 甲府事業所
フロアリーダー

25卒の定期採用者内定式

新しい仲間との出会い

2024年12月3日(火)に、
2024年度 定期採用者「内定式」が執り行われました。

54人の内定者の方が出席され、当社からは役員・本部長も参加。当日は快晴!会場は国の指定重要文化財である「大阪市中央公会堂」で雰囲気も最高!天気と会場にも恵まれた、清々しくそして和やかな「内定式」になりました。「内定式」の後は昼食会(BBQ)を開催、同期の皆さんとの交流が深まったと思います。



SHINE'S for Recruit

Vol. 1

発行日 2025年8月

発行元 パーソルファクトリーパートナーズ株式会社

本誌の内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。